

ウィークリーレポート

2017年1月10日号

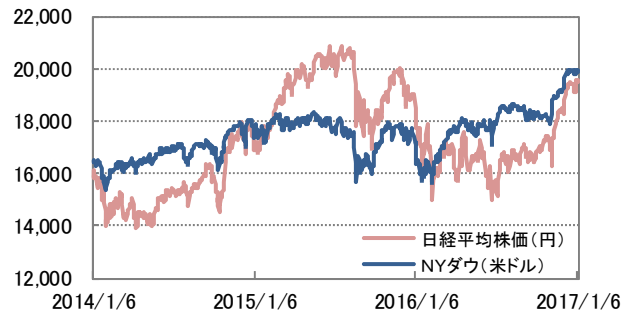
■ 主要指標の動き

	先週末	騰落率				先週末	変化率			
		1/6	1週間	1ヵ月			3ヵ月	1/6	1週間	1ヵ月
株式関連	日経平均株価	19,454.33	1.78%	5.96%	15.12%	米ドル	115.72	▲0.66%	1.88%	11.85%
	TOPIX	1,553.32	2.29%	5.15%	14.73%	ユーロ	122.52	▲0.15%	0.34%	5.70%
	JPX日経インデックス400	13,928.49	2.30%	5.21%	14.89%	英ポンド	143.55	0.38%	▲0.68%	8.82%
	NYダウ(米)	19,963.80	1.02%	3.70%	9.28%	豪ドル	84.92	0.66%	0.30%	7.75%
	S&P500(米)	2,276.98	1.70%	2.93%	5.38%	カナダ・ドル	87.41	1.10%	2.15%	11.35%
	FTSE100(英)	7,210.05	0.94%	6.35%	3.00%	ノルウェー・クローネ	13.63	0.66%	0.66%	5.74%
	DAX(ドイツ)	11,599.01	1.03%	7.64%	9.75%	ブラジル・リアル	36.16	1.23%	8.98%	12.61%
	香港 ハンセンH株	9,611.05	2.30%	▲1.62%	▲3.38%	香港ドル	14.92	▲0.67%	1.84%	11.84%
	中国 上海総合	3,154.32	1.63%	▲1.42%	4.98%	シンガポール・ドル	80.89	0.32%	1.00%	6.97%
	インド ムンバイSENSEX	26,759.23	0.50%	1.39%	▲4.79%	中国・人民元	16.83	0.42%	1.94%	8.51%
	ブラジル ボベスパ	61,665.37	2.39%	0.94%	1.68%	インド・ルピー	1.71	▲0.58%	1.79%	8.92%
	日本10年国債利回り	0.055%	0.015	0.005	0.115	インドネシア・ルピア	0.87	0.00%	2.35%	8.75%
	米国10年国債利回り	2.419%	▲0.025	0.031	0.682	トルコ・リラ	32.18	▲2.90%	▲0.16%	▲5.05%
ドイツ10年国債利回り	0.298%	0.090	▲0.075	0.316	南アフリカ・ランド	8.50	▲0.93%	2.78%	12.73%	
米国ハイイールド債券	364.13	0.85%	2.05%	1.80%	メキシコ・ペソ	5.40	▲4.09%	▲2.17%	0.37%	
その他	東証REIT指数	1,863.14	0.39%	4.45%	3.71%	※債券の騰落率は利回りの変化幅				
	S&P先進国REIT指数	257.96	1.93%	4.87%	1.60%	※米国ハイイールド債券はBofAメリルリンチ・US・ハイイールド・BB-B・インデックス				
	S&P香港REIT指数	319.13	4.27%	▲0.17%	▲6.42%	※東証REIT指数は配当なし				
	S&PシンガポールREIT指数	276.80	3.43%	▲0.51%	▲9.57%	※S&P先進国REIT指数は除く日本、米ドルベース、配当なし				
	ブルームバーグ商品指数	87.37	▲0.17%	▲0.75%	2.17%	※S&P香港REIT指数、S&PシンガポールREIT指数は米ドルベース、配当なし				
アレリアンMLPインデックス	1,338.36	2.50%	8.94%	7.13%	※アレリアンMLPインデックスは米ドルベース、配当込み					
					※インドネシア・ルピアは100通貨単位での表示					

■ 株式市場

日経平均株価は上昇。12月の中国や米国の企業景況感指標の改善から世界景気の回復期待が高まり、投資家心理が好転した。大発会では約1年1ヵ月ぶりに19,500円台を回復したが、その後は円高・米ドル安傾向が株価の重石となり、上げ幅を縮小した。NYダウも上昇。米次期政権の政策に対する期待が根強かったほか、12月の製造業景況感や雇用関連指標の改善が買い材料となった。欧州市場も総じて上昇。FTSE100(英)は連日の史上最高値更新となった。

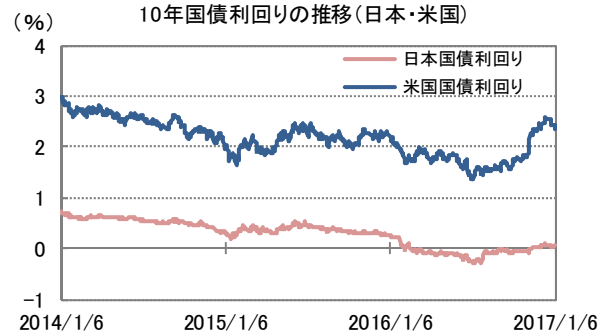
日経平均株価とNYダウの推移



■ 債券市場

日本10年国債利回りは上昇(価格は下落)。国内株式の大幅上昇を受けて国債市場では売りが先行した。米国10年国債利回りは低下(価格は上昇)、一時約1ヵ月ぶりの低水準をつけた。11月の米国大統領選挙以降、金利上昇ペースが速く、米国国債先物の売りも積み上がっていたことから、利益確定目的の買い戻しが加速した模様。週末は米国の賃金上昇率の加速が嫌気され利回りが上昇し、週間では小幅な低下となった。ドイツ10年国債利回りも上昇(価格は下落)。

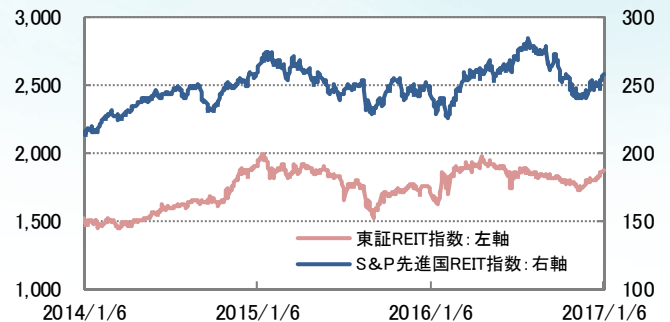
10年国債利回りの推移(日本・米国)



■ その他の資産

国内REIT市場は8週連続で上昇。
海外REIT市場は3週連続で上昇。
原油先物市場(WTI)は上昇。産油国の減産合意を背景に先高観測が根強かった。
金先物は大幅上昇、一時約1ヵ月ぶりの高値を回復。米ドル安が買い材料となった。

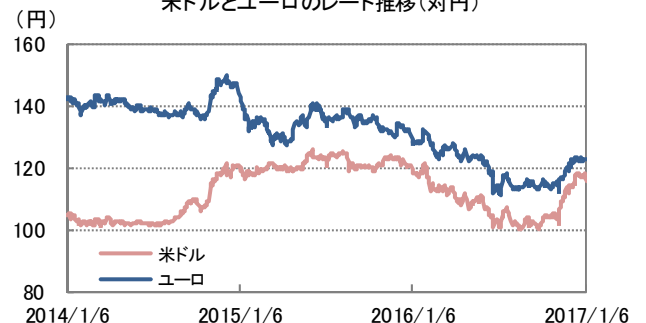
東証REIT指数とS&P先進国REIT指数の推移



■ 外国為替市場

米ドル/円は下落。昨年12月中旬以来となる115円台に下落した。12月のFOMC(米連邦公開市場委員会)の議事要旨で米ドル高が米国の景気、物価の回復を抑制する可能性が指摘されていたことや、米長期金利が低下したことから、米ドルへの売りが強まった。週末の海外市場では、12月の米雇用統計で賃金上昇率が加速したことから米ドルが反発した。
ユーロ/円も下落。ユーロは米製造業景況感の改善を受けて米利上げペースの加速が意識され、一時対米ドルで約14年ぶりの安値圏となった。

米ドルとユーロのレート推移(対円)



■ 主要経済指標

【国内】

実質賃金(11月)・・・前年同月比▲0.2%、11ヵ月ぶりの減少。

【海外】

<米国>

ISM(米供給管理協会)景況指数(12月)・・・製造業は前月から+1.5ポイントの54.7、2年ぶりの高水準を回復。非製造業は前月から横ばいの57.2、高水準を維持。

雇用統計(12月)・・・失業率は前月から0.1%悪化の4.7%。非農業部門雇用者数は+15.6万人。賃金上昇率は前月から+0.4%加速の前年同月比+2.9%、2009年6月以来の高い伸び。

<中国>

製造業PMI(購買担当者指数)(12月)・・・政府発表分は前月から▲0.3ポイントの51.4。民間発表分は同+1.0ポイントの51.9。

■ 今週の焦点

【国内】

1月12日に12月の景気ウォッチャー調査が発表されます。

【海外】

米国では1月11日にトランプ次期大統領の記者会見が予定されています。13日には12月の小売売上高、1月のミシガン大学消費者信頼感指数が発表されます。

(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

【 ご留意事項 】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。